

京都・長岡京跡 (2)

を記す。

一 左京三条二坊十五町 (左京第二四二次調査)

- 1 所在地
一 京都府向日市上植野町脇田ほか、二 京都市伏見区久我西出町ほか

- 2 調査期間
一 一九九〇年(平2)四月～一九九一年一月、
二 一九九一年五月～一二月

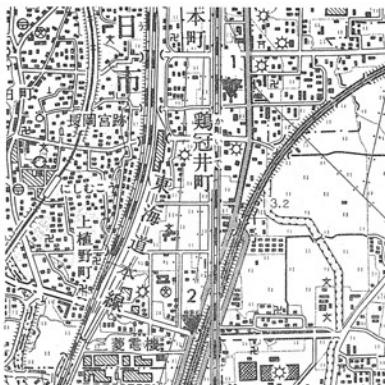
- 3 発掘機関
京都府埋蔵文化財調査研究センター

- 4 調査担当者
一 黒坪一樹・石尾政信ほか、二 鍋田勇・石尾政信

- 5 遺跡の種類
都城跡

- 6 遺跡の年代
長岡京期(七八四～七九四年)

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要



(京都西南部)

中央自動車道西宮線(名神高速道路)の拡張工事に伴う発掘調査を、一九九一年度は向日市内で六カ所、京都市伏見区内で五カ所において実施した。以下、木簡が出土した発掘調査の概要

木簡の出土した場所は、平城京型の長岡京条坊復原図では、左京三条二坊十五町にあたる。自然地形は、桂川右岸の氾濫原で、旧小畠川が西から東方へ流れている。

平安時代の旧河道(小畠川)により削平された長岡京期の堆積層S X二四二〇一二から、木簡・木製品・神功開宝や多量の土器類が出土した。この他に、長岡京期の素掘り溝群などがある。

二 左京二条三坊十一町 (左京第二六七次調査)

木簡が出土した場所は、平城京型の長岡京条坊復原図によれば、左京二条三坊十一町にあたり、二条条間大路が通る地点である。自然地形は西方から東方へ緩やかに傾斜する桂川右岸の氾濫原に位置する。

調査地点(7 ANWIR 地区)で名神高速道路沿いに幅6m、長さ40mのトレンチを設定した。ここでは旧耕作土、床土の下に淡灰色土層の中世土器包含層が見られ、その下層は南端で淡い黒灰粘砂土層が堆積するが、これ以外は青灰・暗青灰粘砂土層となる。これらの堆積層を掘り込んだ水田耕作に関わる素掘り溝群(出土遺物から中世の遺構と推定)と素掘り溝に切られた長岡京期の東西方向の溝を検出した。この溝は幅1・5m前後、検出面からの深さ20～30cmを測り、溝の底には窪みが見られた。溝の埋土は上層で黒灰色粘

質土に暗灰褐色土がわずかに混り、下層には砂が堆積していた。砂の堆積状況及び溝底面の高低差から、西から東へ流れていたと推定される。溝内からは、木簡二点・木製品・種子類・獸骨、外面にヘラ削りを施した土師器の杯Aなどが出土した。

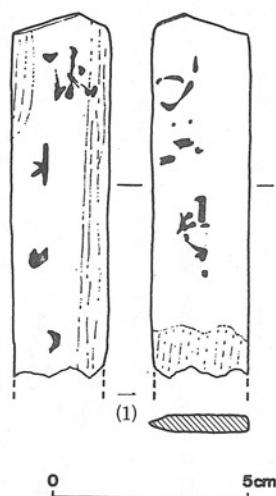
この溝SD一六七〇三の南では長岡京期の遺構が存在しないことから、二条条間大路北側溝と判断した。二条条間大路の幅は、長岡京跡左京第一六二次調査(7ANEKD地区)で検出された二条条間大路南側溝SD一六二〇一の溝心と国土座標で比較すると、三七・四mを測る。また長岡京跡右京第二八五次調査(7ANIFC地区)で検出された二条条間大路南側溝SD一八五〇一の溝心と国土座標で比較すると、三三・四mを測る。これらのことから、二条条間大路は大路の中でも朱雀大路に次ぐ二条大路級の幅を持つことになり、長岡京復原案のうちでも、南北条坊を二町北に上げる説を補強する資料となる。

8 木簡の釈文・内容

一 左京三条二坊十五町

(1) 「□□□」
• 「□□□□」

(96)×25×4.5 019



(1) 「鰐借」
〔石津酒足カ〕
(2) (1)

(55)×(15)×2.5 019
(109)×(12.5)×2.5 081

(1)は、上端の一部を欠損するが、圭頭に尖らせていることがわかる

定される。板目材。

二 左京三条三坊十一町

木簡の表裏に墨痕が遺存するが、腐蝕が甚しく、読みどることはできない。墨痕の範囲から、表三文字、裏四文字のあつたことが推

る。下端を折損する。文字は二字あり、その下が空くことから元来二字であったと考えられる。二字目が「借」であり、文意がわかりにくい。あるいは付札木簡に例のみられる「鯛腊」の二字目の偏の肉月とすべきところを人偏としたのかもしれない。

(2)は、上端が折損するとともに、割截されている。四文字が推定され、「石津酒足」と人名を記したものと判読される。

なお、木簡の釈読にあたっては、向日市文化資料館の清水みき氏のご教示を得た。

9 関係文献

〔京都府埋蔵文化財調査研究センター『京都府遺跡調査概報』第四七冊(一九九二年)

(石尾政信)

埋蔵文化財写真技術研究会編
『埋文写真研究』第三号

文化財写真の研究、技術、情報など、写真を撮る人だけではなく、写真を使って報告書を作る人、これを読んで情報を得る人まで、文化財調査に関わる人々に必携のマニュアル書。年刊で現在三号まで刊行されている(第一号は品切)。

B5判 カラー図版多数 一七〇頁

定価三〇〇〇円 送料四冊まで五〇〇円・五冊以上無料

申込先・〒六三〇 奈良市二条町二一九一一

奈良国立文化財研究所内

埋蔵文化財写真技術研究会 佃 幹雄 宛

TEL ○七四二一三四一三九三一
郵便振替 京都五十九九三〇 埋蔵文化財写真技術研究会